

承認	検証	担当

【はじめに】

本機能設定表は盤面でデータベース設定を行う場合に記入して大切に保管してください。また、DBTOOLを使用する場合は、DBTOOLで設定したデータを印刷して大切に保管してください。リニューアルや基板交換時に設定した内容の確認が必要となります。
 なお、本受信機を使用するにはデータベースの設定以外にジャンパーピンの設定も必要です。(TM10853「遮断スイッチ設定表/接点、ジャンパーピン構成図」を参照)

注意1：各項目の○付数字は盤面データベース設定時のLCD表示の項目番号を示します。

注意2：本紙には盤面データベースのデフォルト設定を記入しております。記載されている○や番号を斜線などで取り消して、○で囲みなおしたり、新たに番号を記載してください。

1. システム設定

1-1. 地区音響逐次鳴動時間(TA) ①

2分 / 3分(標準) / 4分 / 5分 / 6分 / 7分 / 8分

1-2. 地区音響拡大警報時間(TC) ①

無 / 4分(標準) / 5分 / 6分 / 7分 / 8分 / 9分 / 10分

1-3. 発信機入力(A)による消火栓始動(H-HC)の連動 ②※1

連動あり(標準) / 連動なし(※2)

※1：「8.連動設定」→「消火栓連動設定」→「発信機(A)」
 ※2：消火栓バルブにより、消火栓始動(H-HC)の連動を行う場合は、「連動なし」に設定し、4項、5項で設定して下さい。

1-4. 非常放送連動(ヘルカット)回路(EB±)断線・短絡監視設定 ②

終端器なし(標準) / 終端器あり(非常放送使用時)(※1)

※1：有りの場合、コネクタケーブルと非常放送終端器のセット品(別手配)が必要です。

1-5. スイッチ操作音 有り/無し設定 ②

有り(標準) / 無し

1-6. 相互電話回路設定

無し(標準) / 有り(※1)

※1：有りの場合、別途ジャンパー設定と4.「オプションスイッチ設定」が必要です。

1-7. HOST設定 ②

通信速度	38400bps(標準) / 19200bps / 9600bps
異常検出	無し(標準) / 有り

注) 通常は使用しません。

1-8. 防排煙順次起動設定 ②

同時制御回線数	2	回線
応答故障時間	10 / 20 / 30(標準) / 40 / 50 / 60 秒	

注) 5項で対象回線を選択してください。(本設定だけでは、設定内容は有効にはなりません)
 対象回線設定：「16.防排煙順次起動」→「回線設定」

2. オプションスイッチ設定 (遮断・連動設定含む)

・いずれかに○
 ・遮断の場合は6項で遮断スイッチ番号の記入も必要

任意記載

・スイッチを押した時に連動させる場合のみ記載して下さい。(用途が「遮断」の場合は記入不要)
 ・F1~30、D6~20などの連動先端子名を記載して下さい。



OP SW 番号	用途 ②	スイッチ名称	連動先 ② ※最大32点まで
OP1	遮断 / ノック / ロック	エレベータ遮断	
OP2	遮断 / ノック / ロック	機械警備遮断	
OP3	遮断 / ノック / ロック	排煙機停止	F4
OP1	遮断 / ノック / ロック		
OP2	遮断 / ノック / ロック		
OP3	遮断 / ノック / ロック		
OP4	遮断 / ノック / ロック		

遮断スイッチとして使う場合、本項での「連動先」の設定は不要です。
 その場合、「地区別移報の遮断スイッチ番号」の設定が必要となるので「6.移報出力回線設定」で遮断スイッチ(OPSW番号など)を設定してください。

3. ステータス回線設定 (連動設定含む)

F1~F30(移報出力)などの連動先端子名を記載して下さい。

例

No.	受信機ステータス名称	連動先 ② ※最大32点まで	出力要因
1	火災代表	F1, F2, F3, F4	火災発生時に出力します。設備区分「火災」回線の発報時で連動用感知器の発報は含みません。
2	表示機音響	F3	地区窓表示機/部屋番号表示機の音響端子への移報用です。表示機音響設定を有にした回線の入力時に出力します。(保守音響停止中は出力されません)
<p>注意！！ F1~F4を火災代表以外で使用する場合は、初期設定を解除してから使用してください。</p>			
1	火災代表	F1, F2, F3, F4	火災発生時に出力します。設備区分「火災」回線の発報時で連動用感知器の発報は含みません。
2	表示機音響		地区窓表示機/部屋番号表示機の音響端子への移報用です。表示機音響設定を有にした回線の入力時に出力します。(保守音響停止中は出力されません)
3	火災確認信号		感知器第2報発報、発信機作動時に出力します。
4	連動用感知器代表		3種回線の感知器発報時に出力します。設備区分「防排煙」「防排煙復帰起動」回線の入力により連動感知器灯が点灯した場合に出力します。
5	防排煙応答代表		防排煙応答入力がある場合に出力します。
6	諸警報代表		諸警報設定の入力がある場合に出力します。
7	警報音代表		受信機の警報音が鳴動する要因発生時に出力します。(音響および地区音響停止中でも出力します。蓄積、電話呼出音、音響無し設定のもの、保守地区音響停止中音響は含みません)
8	異常代表		異常灯の点滅時に出力します。交流電源断(AC100Vが断した場合)は含みません。平常時はa接点が閉じています。
9	スイッチ注意		スイッチ操作時に出力します。個別遮断中、一括遮断中に出力します。(遮断設定のオプションSWも含む)(スイッチ注意灯の点滅時)
10	遮断中代表		個別遮断中、一括遮断中に出力します。(遮断設定のオプションSWも含む)
11	試験中代表		試験スイッチ操作中に出力します。
12	主電源断(停電)		AC100Vが断した場合(停電時)に出力されます。平常時はa接点が閉じています。
13	非常放送中		受信機の非常放送灯点灯中(EB士がON中)に出力します。
14	発信機代表		発信機応答灯制御時に出力します。
15	復旧出力		復旧スイッチ操作時や蓄積復旧時などの復旧処理中に1秒間出力します。
16	地区音響停止中		地区音響停止中に出力します。(非常放送入力中の地区音響自動停止は含まれません)
17	地区音響一斉鳴動		地区音響一斉鳴動時(火災第2報発報、発信機作動、一斉鳴動スイッチ押下、拡大警報タイムアップ時)に出力します。(地区音響一時停止中、保守地区音響停止中も出力します)
18	地区音響鳴動中		地区音響鳴動中に出力します。(地区音響一時停止中、保守地区音響停止中は停止します)

4. 入力回線設定 (LX)、消火栓入力設定 (HL/HV) (連動設定含む)

任意記載

F1~30(移報出力)、D6~20(防排煙出力)などの連動先端子名を記載して下さい。

- ・階情報：任意記載
- ・保持/非保持：保持回線に○
- ・音響：鳴動しない回線に×
- ・音声：鳴動しない回線に× (音声のみ有りは不可)
- ・地区窓表示機音響：出力する回線に○
- ・消火栓始動：出力する回線に○ (HL/HVは対象外)

LX回線は諸警報に固定

例

回線番号	設備区分 ②	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	連動先 ② ※最大32点まで	階情報	保持/非保持 ②	音響 ②	音声 ②	地区窓表示機音響 ②	消火栓始動 ②
LX1	諸警報	消火ポンプ	故障		F20					○	
LX2	諸警報	業務ガス遮断弁	閉鎖					×	×	×	
LX3	諸警報	消火栓バルブ	開放		F21					○	○
LX1	諸警報										
LX2	諸警報										
LX3	諸警報										
HL/HV	消火栓入力										

5. 入力回線設定 (L/DA) (連動設定含む)

■設定内容詳細

【設備区分とは】

回線毎に設備区分「火災」「諸警報」「防排煙」の設定を行い、各設備区分に応じた動作を行えます。
 火災回線は「火災」「諸警報」、防排煙回線は「火災」「諸警報」「防排煙」の設定が可能です。
 なお、諸表示回線 (LX) は「諸警報」、消火栓入力 (HL/HV) は「消火栓入力」に固定されます。

【自動連動階とは】

地区音響、非常放送の自動連動設定を行う場合に設定します。
 設定対象は火災回線のみです。
 自動連動設定では、火災回線に設定された自動連動階情報をもとに、地区音響 (出火階・直上階)、非常放送 (階ごとに1出力) の連動設定を自動で行います。

【地区窓表示機音響について】

本機は表示機音響の専用端子がないため、Fn接点1点を表示機音響用として使用し、出力要因をステータス要因「表示機音響出力」に設定してください。

【消火栓連動について】

発信機入力 (A)だけでなく、消火栓バルブ開放の入力により、消火栓移報端子H-HCへの連動設定が可能です。
 (設備区分が「防排煙」「諸警報」の場合のみ。)

【順次起動について】

順次起動の対象回線を設定します。
 注) 「1.システム設定」で防排煙順次起動設定を行ってください。

■記入方法

【設備区分】

「火災」、「諸警報」、「防排煙」からいずれかを記入

【種別名称、状態文字、オプションメッセージ】

任意記入
 種別名称、状態文字、オプションメッセージは、DBTOOLでのみ入力が可能です。

【連動先】

・F1~F30(移報出力)、D6~D20(防排煙出力)などの連動先端子名を記入
 ・防排煙回線で、DA入力(端末応答入力)で連動する場合は連動先番号に○をつけてください。

【自動連動階】※設備区分が「火災」の回線のみ

自動連動設定を行う場合に記入
 ・地下階の場合：B1F~B5F
 ・地上階の場合：01F~20F
 ・その他：RF(屋上)、ST(階段)、EV(エレベータ)、ES(エスカレータ)

【階情報】

任意入力の階情報(メモ)を記入

【空き回線】

空き回線に○を記入

【蓄積解除】

蓄積解除回線に○を記入

【蓄積音響無】

蓄積音響無回線に○を記入

【諸警報保持/非保持】※設備区分が「諸警報」の回線のみ

諸警報保持回線に○を記入

【音響・音声】※設備区分が「諸警報/防排煙」のみ

・鳴動しない回線に×を記入
 ・音声のみ有りは不可

【地区窓表示機音響】

地区窓表示機音響出力する回線に○を記入
 注) 音響設定を「×」にしている回線は出力できません。

【消火栓始動】

・火災回線で設備区分が「諸警報」の場合：Lのみ○
 ・防排煙回線で設備区分が「諸警報」の場合：L、DAに○
 ・防排煙回線で設備区分が「防排煙」の場合：DAのみ○

【順次起動】※設備区分が「防排煙」のみ

順次起動対象回線に○を記入
 注) 「1.システム設定」で防排煙順次起動設定を行ってください。

ステータス連動(火災代表移報など)は、3項のステータス回線設定に記載してください。
 なお、デフォルトでF1~F4に火災代表が設定されています。

回線番号	設備区分②	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	連動先② ※最大32点まで	自動連動階②	階情報	空き回線⑥	蓄積解除⑫	蓄積音響無⑬	諸警報保持/非保持⑭	音響⑬		音声⑬		地区窓表示機音響⑯		消火栓始動⑰		順次起動⑱	
												L	DA	L	DA	L	DA	L	DA		
1	火災			地下1階	F6, F7	F11	B1F										○				
2	火災	【例】泡消火放出の入力で、ベルを鳴動させる方法 ①諸警報(回線番号9)にて泡消火放出入力 ②諸警報(回線番号9)入力で移報出力(F2)に連動 ③移報出力(F2)を火災(回線番号10)に入力し、RBKLLリレーが作動してベル鳴動		1階	F6, F7, F8	F12	1F										○				
3	火災		2階 客室	F8, F9	F13	2F											○				
4	火災		3階 客室	F9	F14	3F												○			
5	火災 諸警報		他棟 火災		F15													○			
6	防排煙	防火戸シャッター	閉鎖	1階 管理室前	D6	F21	1F											○			
7	防排煙	排煙口	開放	1階 共用部	B8 D8	F22	1F											○			
8	防排煙 諸警報	排煙機	運転	3階 機械室	B8	F23	3F											○			
9	防排煙 諸警報	泡消火	放出	地下1階 駐車場	B8 F6, F7 F2	F24	B1F											○			
10	防排煙 火災	泡消火	放出代表	地区音響RBKLLリレー起動	B10																
11	防排煙 諸警報	易操作性消火栓	作動	バルブ開放代表	B11 L10に火災を入力する	F25												○		○	
12	防排煙 諸警報	SPポンプ	運転	非常ELV前	B12	F26												○			
13	防排煙 諸警報	ガス消火	自動		B13	F37												○			
14																					
15																					

FCSJタイプ 火災、防排煙回線の内訳	
回線	設備区分
10	火災：1～5L、防排煙：6～10L
15	火災：1～5L、防排煙：6～15L
20	火災：1～10L、防排煙：11～20L

注意！！

盤面DB設定でF1～F4を連動先に設定する場合、デフォルト設定でF1～F4が下記①、②の状態になっているため設定を解除してから連動設定を行って下さい。

- ①ステータス「火災代表」に設定されている
- ②OP1～OP4に1対1で遮断スイッチに設定されている

また、盤面DB設定では、防排煙回線のL入力に対してD出力が1対1で組まれています。受信機の回線数ごとの火災回線、防排煙回線の内訳はページ上部の表を参照ください。

なお、DBTOOLで設定を行った場合はいずれも設定されて無い状態となります。

回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	連動先 ※最大32点まで	自動 連動階	階 情報	空き 回線	蓄積 解除	蓄積 音響 無	諸警報 非保持	音響		音声		地区窓表示機 音響		消火栓始動		順次 起動	
												L	DA	L	DA	L	DA	L	DA		
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					

6. 移報出力回線設定 (F) ②

・「遮断」スイッチを設定する場合、OP1～5または「火」（火災代表）、「非」（非常放送）、「消」（消火栓）、「防」（防排煙代表）を記入する。
 ・地区音響の場合は、ジャンパー設定により「館内の音を止める」スイッチ（地区音響停止）が有効になるので記入不要。

基板		端子名称	コモン	任意記載	移報先	任意記載	スイッチ番号、名称を記入	遮断スイッチ	任意記載	オプションメッセージ	任意記載	階情報
基板		端子名称	コモン	任意記載	移報先	任意記載	スイッチ番号、名称を記入	遮断スイッチ	任意記載	オプションメッセージ	任意記載	階情報
P S C U	F1	F1C			エレベータ		OP 1	エレベータ 遮断		火災代表		
	F2	F2C			機械警備		OP 2	機械警備 遮断		火災代表		
	F3	F3C			表示機音響		OP					
	F4	F4C			空調機		OP 3	空調設備		火災代表		
	F5	F5C			中央監視		OP 4	中央監視 遮断		異常代表		
	F6	FNC 1			地区音響		OP	館内のベル音を止める		地下 1 階		B I F
	F7				地区音響		OP	館内のベル音を止める		1 階 客室		1 F
	F8				地区音響		OP	館内のベル音を止める		2 階 客室		2 F
	F9				地区音響		OP	館内のベル音を止める		3 階 客室		3 F
	F10				地区音響		OP	館内のベル音を止める		階段		S T
O P	F11	FNC 2			表示機		OP			地下 1 階		B I F
	F12				表示機		OP			1 階		1 F
	F13				表示機		OP			2 階 客室		2 F
	F14				表示機		OP			3 階 客室		3 F
	F15				表示機		OP			階段		
	F16	FNC 3			非常放送		OP 非	非常放送 遮断		地下 1 階		B I F
	F17				非常放送		OP 非	非常放送 遮断		1 階		1 F
	F18				非常放送		OP 非	非常放送 遮断		2 階 客室		2 F
	F19				非常放送		OP 非	非常放送 遮断		3 階 客室		3 F
	F20				非常放送		OP 非	非常放送 遮断		階段		S T
	F21	FNC 4			機械警備		OP 2	機械警備 遮断		設備作動		
	F22						OP					
	F23											
F24												
F25												
F26	FNC 5											
F27												
F28							OP					
F29							OP					
F30							OP					

一般型ベルで区分鳴動する場合、F接点の地区別移報を「地区音響」とし、別途ジャンパー設定（JPA1～n、JPF1～n）が必要。
 F6～F30は地区音響（有電圧）として使えます。（F1～F5は無電圧限定）
 地区音響として使う場合はF6～使用できますが、F11～使用する場合は前詰めで使って下さい。
 F11～F15が無電圧a接点でF16～F20を地区音響（有電圧）のような使い方はできません。

7. AND連動設定

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。



No	回線番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階情報	連動先 ※最大32点まで
1	DA11	防排煙	特選排煙口	開放		1F	D15(排煙機)
	DA12	防排煙	特選給気口	開放		1F	
2	L1	火災			火災(煙)		F1(ハロン制御盤)
	L2	火災			火災(熱)		
3	L3	火災			1棟火災(ステータス発信機)		F2(消火ポンプ)
	L4	火災			2棟火災(ステータス発信機)		

【連動要因について】

以下の連動要因から設定可能です。
 ・火災 (L)
 ・諸警報 (LX,L,DA)
 ・防排煙 (L/DA)
 ・消火栓入力 (HL/HV)
 ・ステータス連動要因

【連動先について】

以下の連動先から設定可能です。
 ・移報 (F)
 ・防排煙 (D)

No	回線番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階情報	連動先 ※最大32点まで
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

No	回線番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階情報	連動先 ※最大32点まで
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							